

過疎だけにぎやかな町。斬新なチャレンジを歓迎し、応援する寛容さにあふれ、様々な人がこぞって集う、活気ある町。

新しい時代の中でも決して埋もれることなく、小さいながらもキラリと光る存在でありたい。

新しいまちづくりの合言葉、「にぎやかそ」にはそんな思いが込められています。

みんなが笑顔で夢を語れる町を目指して取り組む、美波町の地方創生を紹介します。

## 映画「波乗りオフィスへようこそ」いよいよ公開！

美波町を舞台に、地方創生の今を描いた映画「波乗りオフィスへようこそ」。

4月5日には徳島での先行公開が始まりましたが、それに先立つ2月16日の美波町を皮切りに、阿南市、東京、大阪、そして徳島国際映画祭で試写会が行われました。

美波町は徳島県、阿南市とともに、東京・大阪の試写会会場にて来場者向けのPRブースを設置。映画の題材となったサテライトオフィス誘致や観光の冊子、「にぎやかそ」ステッカーを配布しました。



(写真左上) 美波町での試写会で挨拶する明石監督、赤川修也映像監督(赤松出身)、関口知宏さん。(写真左下) 大阪試写会場の様子。(写真上) 東京試写会で徳島県、阿南市とともに「四国の右下」をPRする美波町職員。

2月28日に行われた東京試写会では、映画・芸能関係を中心にしたメディアへのお披露目の意味合いもあり、主演の関口知宏さんをはじめ、宇崎竜童さん、柏原収史さんら主要キャストと明石知幸監督(阿部出身)、そして著書が原案となったサイファー・テック株式会社代表取締役・吉田基晴さん(桜町)が舞台挨拶に。

「俳優を辞めようと思った矢先の出演依頼だった」「人生の岐路にもなった作品」との感想を噛み締めていた関口さん。方言指導にあたった役場職員とのエピソードなどを面白おかしく語り、会場を笑いの渦に巻き込んだ宇崎さん。

俳優の皆さんはいずれも嬉々とした表情で口ケの思い出、美波町の住民の皆さんとの思い出を語り、「いい作品になった」と絶賛。明石監督が思わず照れ笑いを見せる場面もありました。

## お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館1階

由岐地区：由岐ふれあいホール(ぼっぼマリン2階)